課題番号：2026-205

第１版　2026/7/28 作成
第２版　2026/10/1 作成

転移性胃癌の一次治療における治療選択状況の経時的変化および新規推奨治療の導入の促進・阻害因子に関する検討

１．研究の対象

全国のがん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、その他、都道府県の推薦を受けて院内がん登録を国立がん研究センターがん対策研究所へ提出している施設のうち、「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究」(2013-081)への協力施設で転移性胃癌に対する初回化学療法を受けられた方。

２．研究目的・方法

(目的)

本邦の転移性胃癌における一次治療レジメンの選択動向を追跡し、新規推奨治療が実臨床に浸透していくプロセスを明らかにし、新規推奨治療の導入を推進する因子や妨げる因子を調査することにより、がん診療の均てん化に寄与することを目的とします。

(方法)

先述の研究で構築した院内がん登録と「DPC 導入の影響評価にかかる調査」をリンクしたデータベースを用いて、診療実態の記述を行います。

(研究実施期間)

研究許可日～2029 年 3 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

抗がん剤治療の実施歴、性別、生年月日、併存疾患、抗がん剤投与実施施設情報（病院機能　等）等

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
国立がん研究センター消化管内科（研究責任者） 平野秀和
東京都中央区築地 5-1-1
電話番号：03-3542-2511、内線番号：7377